

平成 28 年 7 月 1 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク**  
**運営委員会議事録（7 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、岡部、沖津、片桐、木村、葉木、森、若笠、事務局天寺

森村会長補佐（推進委員会からの出席）

1. 濱田代表理事 挨拶

6 月 26 日全体ミーティングお疲れ様でした。SL には多種多様な人がいます。今回は、地域別ではなく、戸建にお住まいの方がマンションにお住まいの方かで班分けをして、意見交換してもらいました。出された課題をこの後、整理して、今後の社団の活動に結び付けていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

別添資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

3. 公益社団 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

別添資料「運営委員会議事」参照。

（ア）6/26 全体ミーティングの振り返り。

➤ 各班進行役を担当した委員からの報告。

戸建 A 班：沖津 別途添付「参加報告書」参照のこと

戸建 B 班：片桐 班で出された意見として

・地域同士のつながりが少ない・自治体の結成率、自主防災組織の組織率が低い・防災に関心のない人への伝え方がわからない・行政とのつながりがない・SL の認識度が低い

これらの課題を解決するために

行政・社協・学校などとのつながるために、積極的に顔を出していくことからスタートする。東京ネットワークを立ち上げる。指導者としての技術を身に着けるために、専門部会を再編して技術を身に着けられるスキルアップ講座を開催してほしい。今回のようなミーティングをもっと開催し、交流・情報交換したい。

戸建 C 班：石丸 別途添付「参加報告書」参照のこと

戸建 D 班：若笠 班で出された意見として

班には、行政にかかわっている人もいた。SL の制服をもっと活用したらどうか。SL の PR が必要。制服を着る勇気と着る努力もしていきたい。

横の連携をとれるようにしたい。班には熊本へ 1 週間支援に行っている人もいた。

戸建 E 班：葉木さん 別途添付「参加報告書」参照のこと

マンション F 班：森

マンションでの安否確認の方法で話が盛り上がった。階段型は縦・廊下型は横で情報を共有するなど、やり方が違う。マンションの形態に合わせた方法が必要となる。

活動する上では、何かやりたいと思ったら自分が旗振り役になってほしいと伝えた。

マンション G 班：仁藤

SL 活動の話しというよりは、マンションの話になってしまった。出た意見としては、

マンションでの防災活動について、居住者に理解者がいない。防災マニュアルに対して住

民が受け身すぎる。防災担当をやりたいというので任せてみたら期待通りに行かなかった。管理組合と自治会や自主防災会とがうまく連携できていない。

やはり、管理組合での総会や理事会に自分たちの方から食い込んでいくしかない。例えばマンション内の祭りとかで防災ブースを出してPRしていくなど。

マンション H 班：木村

「マンションで防災訓練をやって 2 割しか参加がない」という意見が出た。しかし、それを「2 割しか」とするより「2 割も」と考えた方が良い。数で攻めようとする方がうまくいく場合がある。やはり地道に活動した方が良い。

▶ 全体での振り返りとして

- ・ 途中参加の方の対応がどうしたらよいか・・・今回は途中から参加できるような内容ではなかった。途中から参加する旨の連絡もなかった。次回は「途中から参加の方は進行の関係上、ご遠慮ください」の一文を入れるなど対応をすることで協議した。

- ・ 各班からの意見から、今後社団としてやるべきことについて、次の 3 つを当面の課題とすることで話し合った。

広報ツールを作成し、会員に提供する（チラシ・ポスター）案を会員に協力を募る  
部会の再編を考える テーマ別分科会、費用を取る、参加しやすいように平日夜開催・土日開催などを考える。

各地域のイベントを 1 つにまとめて HP を提供する 地域ネットに属していない個人の活動する場を提供・共有するために HP の積極活用を働きかける。

(イ) 非常用炊出袋の組織内卸値の変更

定価 250 円は変わらず。組織内卸値を 7 月 1 日より 200 円に改定する。

事務局在庫は 6 箱。座間ネット 6.5 箱とする。

(ウ) 「かながわボランティアジェット」への参加について

委員で議論した結果、社団として「かながわボランティアジェット」による熊本支援に参加協力することになった。これにより、社団としては応援缶バッチによる義援金活動と「かながわボランティアジェット」によるボランティア活動の 2 本立てで支援していくことで出席委員の了承を得た。

詳細については、分かり次第、広報周知していく。

#### 4. 各地域の活動報告

##### <千葉県>

▶ 県ネット・船橋ネット（片桐）

- ・ 7/7 九都県市合同防災訓練千葉県会場（茂原市）の全体会議。
- ・ 6/17 船橋市シェイクアウト登録開始 10 万 4 千 800 人（現在）

▶ 流山野田ネット

- ・ 6/18 定例会 6 名参加。
- ・ 6/26 流山 7 丁目自治会から講演依頼を受けていた。テーマは「鬼怒川の洪水に見る江戸川の危険」。その地区は江戸川が決壊すると 2 ~ 5 メートルの浸水の危険地域。今後、流山小学校区協議会（浸水地区）で江戸川の防災部会を立ち上げて話をしてほしいとの依頼があった。

- ▶ 市浦ネット（木村）：
  - ・ 7/24 定例会を予定。

<神奈川>

- ▶ 神奈川県の動向（森）
  - ・ 6/20,27,28 神奈川県立高校 180 名を対象に DIG を実施。
  - ・ 2017 年 1 月に小中高の先生方対象 1000 人に 5 年経験者研修を実施予定。インストラクターを募集するので協力してほしい。
- ▶ 座間市（濱田）
  - ・ 東北ボランティアツアーを企画。今年が最後になる。ぜひ参加してほしい。
  - ・ 7/30 体験型市民減災・災害対応訓練を企画している。市との共同事業として実施。県央ネットは道場として活用するよう呼びかけている。
  - ・ 7/21 座間養護学校にて職員研修。5 年間実施してきた。先生方自らテーマを決めて実施するので見ていてほしいと依頼された。
  - ・ 8/17、18 17 日午前;中高生対象に災害講座（ナマズの学校）午後;普通救命講習。18 日は消防による礼式訓練、実技訓練などをやるので、ぜひ見に来てほしい。協働の在り方の見本になると思う。
- ▶ 西湘ネット
  - ・ 6/12 小田原にて講演会。温泉地学研究会の先生による講演会を実施した。
- ▶ 横浜市（沖津）
  - ・ 6/4 災害食研修を行った そのときのレシピを作成し後日、本委員会に提供する。

<埼玉県>

- ・ 6/26 全体ミーティングの後、埼玉県ネットの集まりを設けた。8/30 定例会を予定。県内の SL にはがきで呼びかける。また、8/2 日本工業大学での普通救命講習の指導依頼を受けたので、県ネットとして担当する予定。

5. 各部会の活動報告

- ▶ 福祉部会...8/12 築地で 9:20 集合 仲卸状況を見学。波除神社 350 年前にできた神社で昔海であったという場所。
- ▶ 情報部会...7/13 海洋研究開発機構の見学会
- ▶ 応急部会...7/21 池袋防災館見学会

**【次回の開催日】 8 月は休会。9 月 9 日（金）13 時 30 分～**

**9 月 9 日 10:00～理事会**

**9 月 9 日に予定されていた福祉部会は 9 月 16 日（金）に変更とする**

## 2016年6月の事業報告と今後の予定

(7月1日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

### 1、防災とボランティアをめぐる情勢

#### 1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・舛添都知事辞任 6/21
- ・参議院選挙 告示 6/22 投票 7/10
- ・英国国民投票 EU 離脱決定 6/23
- ・都知事選挙 告示 7/14 投票 7/31

#### 1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、首都圏は震度4以上)

- ・6/16 14:21 震央 内海湾 M5.3、深さ11km、震度6弱 函館市及川町
- ・6/12 07:54 震央 茨城県南部 M4.8、深さ40km、震度4 水戸市他

イ 火山

ウ 風水害

- ・6月20日からの西日本の大雨に係わる被害状況
  - 最大雨量 1時間降水量 150ミリ 熊本県甲佐 観測史上全国4位
  - 人的被害 熊本県死者6人 1位は153ミリで香取市

オ 事故等

海外 ア 地震(USGC発表、M7.5以上又は報道等で犠牲者多数)

イ 自然災害

- ・6/19 熱波 米国南西部 最高気温48 観測
- ・6/23 竜巻 中国東部 死者98人

ウ 事故等

#### 1-3 防災行政等の動き

ア 政府

- [ 防災会議 ] 6/28 東海地震対策抜本見直しへ有識者委員会設置
- [ 気象庁 ] 6/10 土砂災害監視速報 土砂災害春終息、夏発生の可能性
- 6/23 緊急地震速報訓練
- [ 文部省 ] 6/22 高校学習指導要領(2022年度以降) 地理総合必修科目に
- [ 推本 ] 6/10 全国地震動予測地図2016年版公表 略:地震調査推進本部

イ 自治体 九都県市合同防災訓練

幹事会場:さいたま市

東京都:足立区、千葉県:茂原市、神奈川県:横須賀市、埼玉県:

ウ 被災地状況

(東日本大震災)

- ・避難・転居者数(復興庁発表) 16万0081人 前月比-5256人 5/16現在

(熊本地震)

- ・避難所数 187 123、避難者数 8,231 6,259人 5/30 6/16

## 1-4 災害ボランティア等の動き

- ・熊本大地震関係

## 1-5 注目すべきメディアと書籍等

- ・TV [NHK]
- ・書籍 新刊

## 2、この間の主な活動と今後の予定

## 2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

## A、災害ボランティアリーダー養成事業

## ア 全体的な到達点

- ・S L 養成数

本部講座 9,227 人 公認講座 2,043 人\* 計 11,270 人 6/25 現在

講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策

## イ 本部主催のS L 養成事業

- ・一橋大学講座
- ・東京大学講座

## ウ 大学等受託のS L 養成事業 中央大学

## エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

## オ 講座改革

## B、防災 / 減災啓発推進事業

## ア 本部等主催の防災啓発推進事業

## イ 本部受託の事業

## ウ 他主催の事業への協力

- ・防災啓発中央研修会 6/30-7/1 主催：消防防災科学センター

## エ 他主催の事業情報

## C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

- ・[報告]第1回S L ミーティング 6/26

## 2-2 総合的な防災事業

## A、シェイクアウト事業 (防災訓練事業)

## ア 全体的な到達点 2015 年 累計約 527 万人、世界で 4400 万人

## イ 重要 気象庁との連携 11 月 4 日 シェイクアウト 6/16 発表

## B、防災教育推進事業

## ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

## イ 防災教育普及事業

- ・[報告]普及協会総会 6/18
- ・[報告]防災ゲームデー 6/26 そなエリア東京
- ・[予定]防災教育実務者研修 10/14-15 防災教育交流フォーラム 15-16

## ウ 学校・団体等防災教育推進事業

- ・[各地]学校での防災教育支援

## C、被災者生活再建支援事業

- ・[報告]熊本県での罹災発行業務支援

全壊	5,990	半壊	20,219	一部損壊	85,535	5/30 現在
	7,695		23,094		113,428	6/16 現在

#### D、防災研究事業

- ・ [予定]7/15 防災科研 熊本地震報告会
- ・ [予定]7/27 国際危機管理学会日本支部学習会

#### 3、事務局等

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク  
**運営委員会 議事**

**【報告事項】**

1. 6月26日(日) 第1回全体ミーティング報告
  - 参加者報告 63名 (男性48名、女性15名/東京都 9名 神奈川県 32名 千葉県 12名 埼玉県 9名 静岡県1名)
  - アンケートは別添参照
  
2. 非常用炊出袋の第3次発注と原価の報告
 

添付「非常用炊出袋」原価表  
 1000パック(12.5箱)座間に納品済み(本部6箱、座間6.5箱)  
 定価250円 地域ネット卸値200円(7月1日より新価格)
  
3. 平成28年熊本地震 応援缶バッチの状況
 

添付「平成28年熊本地震義援金缶バッチ状況」  
 現在までの合計金額 255,749円  
 熊本県被災された方への義援金送金先：ゆうちょ銀行(099店 当座預金)口座記号番号：  
 00940-0-174320 名義：熊本地震義援金(クマモトジシソギエンキン) へ送金予定
  
4. 「かながわボランティアジェット」への参加検討
 

主催団体：神奈川災ボラ熊本地震支援実行委員会事務局  
 (公財)日本財団による助成事業。  
 添付「飛び立つ・熊本支援「神奈川ボラジェット」参加者募集」  
 <実行委員会体制>  
 委員長 田口努(横浜災害ボランティアバスの会代表・横浜Y M C A総主事)  
 副委員長 鈴木一男((株)ダイイチ取締役会長)  
 事務局長 秦好子(被災地の子どもを支援する神奈川市民の会事務局長)
  
5. 次回運営委員会
 

2016年9月9日(金)13時30分～  
 8/5(金)は休会

以上